



【発信日】 令和2年3月24日

【問合わせ先】

大野市教育委員会事務局

文化財課 担当 佐々木、酒井

電話 0779-65-5520 内線 78-576

大野市長野で発見された恐竜時代のカメは新種の可能性あり！

～研究成果が早稲田大学の学術雑誌に掲載されました～

大野市で発見されたカメ類化石について、早稲田大学を中心とした研究チームによる研究の結果、国内初のマンチュロケリス属標本が確認されました。このたび、その成果を報告した論文が「Waseda Global Forum 16（早稲田大学国際教養学部紀要第16号）」に掲載されましたのでお知らせします。

記

1 概要

平成8年から平成28年までに大野市内で発見された計62点のカメ類化石標本について、平成28年4月より早稲田大学の平山廉教授と福井県立恐竜博物館の藺田哲平研究員からなる研究チームで詳しく調べた結果、大野市長野産標本の中から国内初産出のマンチュロケリス属（不明種）が確認されました。

長野産のマンチュロケリス属標本は新種の可能性があります。証拠が十分ではないため、今後の新たな追加標本の発見が待たれます。

2 掲載論文

- (1) 掲載誌 Waseda Global Forum 16（早稲田大学国際教養学部紀要第16号）
[https://waseda.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id=3421&count=20&order=7&pn=1]
- (2) 論文名 福井県大野市九頭竜地域の下部白亜系手取層群より産出した化石カメ類
- (3) 著者 平山 廉（早稲田大学国際教養学部 教授）
藺田哲平（福井県立恐竜博物館 研究員）
酒井佑輔（大野市教育委員会 学芸員）
伊左治鎮司（千葉県立中央博物館 主任上席研究員）
大倉正敏（愛知県江南市）
- (4) 出版日 令和2年3月1日

3 大野市長野産のマンチュロケリス属標本について 別添資料のとおり

大野市長野産のマンチュロケリス属標本について

1. 発見

平成13（2001）年11月23日

2. 産地

大野市長野 天頭谷（あまがしらだに）

3. 時代

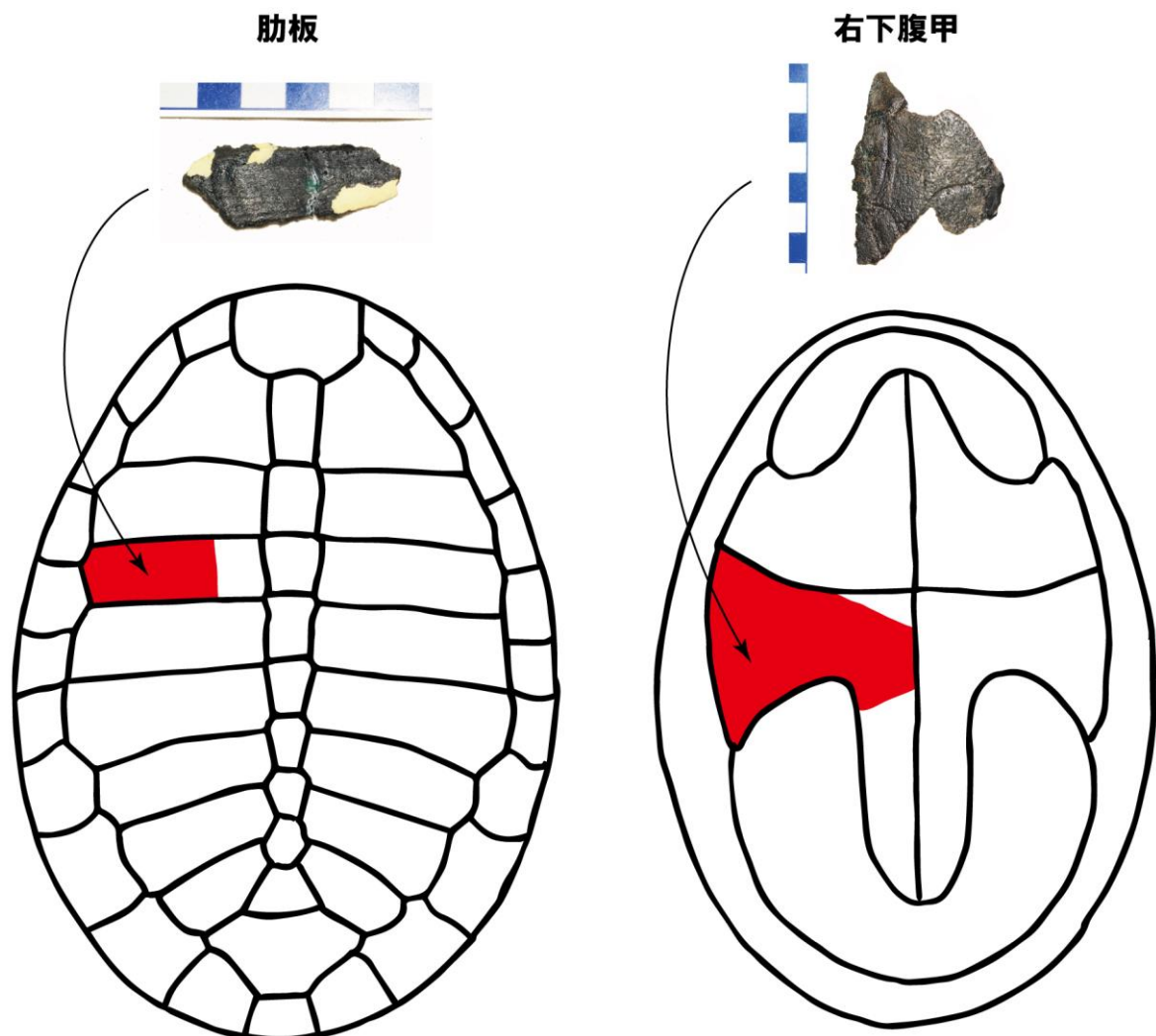
前期白亜紀（約1億4500万年前から約1億3000万年前までの期間と推定）

4. 地層

手取層群

5. 発見部位

マンチュロケリス属（不明種）の肋板 1点、右下腹甲 1点



6. 特徴

- (1) 推定される甲長（甲羅の長さ）は、30cm 以上に達します。
- (2) 肋板は、欠損部あり、49mm 幅が残存。背面の中軸部が顕著に凹むなどの特徴があります。
- (3) 右下腹甲は、欠損部あり、主に外側部の前後長 66mm が残存。

7. 同定結果・根拠

- (1) 肋板に見られる「背面の中軸部が顕著に凹む」という特徴は、カメ類の中でも中国遼寧省産のマンチュロケリス・マンチュウコウエンシスにのみ認められる特異な形質であり、少なくとも長野産標本はマンチュロケリス属に同定することができます。
- (2) 長野産のマンチュロケリス属標本の推定甲長は、遼寧省産のマンチュロケリス・マンチュウコウエンシスの2倍ほどあることや、肋板表面の線状彫刻の違いなどの特徴で明らかに異なります。このことから、長野産のマンチュロケリス属標本は、マンチュロケリス・マンチュウコウエンシスとは別種であると考えられます。

8. 発見の意義

- (1) マンチュロケリス属は、中国の前期白亜紀の地層からの報告にこれまで限定されてきたカメ類のグループでしたが、今回、大野市長野の手取層群から属レベルで共通するカメ類が産出することが国内で初めて確認されました。この発見は、当時の東アジアにおける陸域生態系の復元及び生物多様性の解明に大きく貢献するものと期待されます。
- (2) 長野産のマンチュロケリス属標本は、中国遼寧省産のマンチュロケリス・マンチュウコウエンシスとは別種であると考えられ、新種の可能性があります。しかし、発見部位が少なく証拠が十分ではないため、今後の新たな追加標本の発見が待たれます。

9. 展示について

大野市長野産のマンチュロケリス属標本は、令和元年度和泉郷土資料館企画展「おおの恐竜発掘—新発見への挑戦—」（開催期間：令和元年7月19日～令和元年11月4日）で初公開後も同館で現在展示中です。

- (1) 期 間：令和2年5月31日（日）まで
- (2) 場 所：和泉郷土資料館（大野市朝日25-7）
開館時間 平日（土曜日含む）午前9時～午後4時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
入館料 大人 200円、中学生以下 無料、団体30名以上 100円
休館日 月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

[補足説明]

マンチュロケリス属について

マンチュロケリス属は、マンチュロケリス・マンチュウコウエンシスのみの1種からなるカメ類のグループです。マンチュロケリス・マンチュウコウエンシスの化石は、これまでに中国遼寧省と内モンゴル自治区の前期白亜紀の地層から見つかっています。